

① ミニクリスマスツリー作り



どうやって、わごむつけるの？

わたしわかるよ！
やってあげる！

ここもってて
あげる！

ここにひっかけたらばってんにして、
もういっかいひっかけて……



一人ひとつと決めず、子ども達が満足できるまで十分に楽しめるよう、様々な材料の中から自分で好きな物を選び、作る事が出来る期間を一週間設けた事で、イメージを膨らませながら思い思いのツリーを作っていました。

手先・指先が一段と器用になり、細かい作業もこなせるようになってきました。そして、一人ひとりが“どうすると良いか”をしっかりと考え、考えた事を行動にうつす事や（自立心・思考力の芽生え）、友達に教えてあげたり教えてもらったりする事（言葉による伝え合い）も成長していると感じました。

② 話し合い

部屋中が子どもたちの作ったツリーでいっぱいになると、「たくさんつくったから、おともだちにあげていい？」という意見が出ました。クラスの中でルールを統一する為、子ども達とどのようにするか話し合いをしました。すると、「ちいさいおともだちにプレゼントしてあげるのはどう？」という意見に「それいいね!」「3グループに分かれて、つくったらいいんじゃない？」など、沢山の意見が出てきました。どのクラスに作るかを決め、8、9人で1グループになると、同じグループの友達とイメージを共有するために、何を使ってどのように作るかを絵で描きました。



子どもたちなりに年下のお友だちの事を考えながら様々な意見を出し合い、描いた絵を元に、段ボール・花紙・ボタン・毛糸等を使って作っていきました。

② プレゼントを届けよう！

いよいよ、ツリーやリースが完成し、どのように届けるかを話し合うと、“クリスマスプレゼントとして届けに行きたい！”という意見が多くなりました。“衣装どうする？”の声に、「サンタになろう！」という意見も出たので、自分たちで帽子を作り、発表会で使用したスカートやズボンを履いてサンタさんに変身する事にしました。長方形の紙を円すい型に丸めるのが難しかったようですが、こつを掴んだ友達に自分から聞きに行ったり、見て真似てみたりし、試行錯誤しながら作っていました。

どうやってするかおしえて？

いいよ。ここもってて！
こうやってまるめるんだよ。



そうやってすると
いいのか…

《もも組》

ももぐみさん
いるかな～？



いたいた！
みんなかわいいね。



これ、なんだろう？

おへやにかざってね！



ぜんぶ じぶんたちでつくったんだよ！

《ばら組》

サンタさんがきたよ！



メリークリスマス！
プレゼントだよ。

♪あわてんぼうの
サンタクロース♪



また
あそぼうね～！

《たんぽぽ組》

サンタさんだよ！



けいととボタンがついてるね。
どうやってつくったの？



ダンボールにボンドをつけて、
ボタンをのせてー…



♪わすれちゃ だめだよ
おもちゃ～♪

部屋に戻り、活動の振り返りをする時“喜んでくれて嬉しかった、一緒に歌ったり踊ったりしたのが楽しかった、また遊びにいきたい”など、色々な意見が出てきました。

今回の活動を通して、自分の意見を主張するだけでなく、相手の思いも聞き入れながら話し合いを重ねたり、年下の友達の姿を思い浮かべながら作り進めたりという姿から、協同性の育ちや年下の友達を思いやる心の育ちを感じました。